

【島根県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	島根県立松江工業高等学校	(夜間定時制)
<ul style="list-style-type: none"> 必要な生徒には、始業前にソーシャル・スキル・トレーニング (SST) を行い、学校生活でのルールの徹底や学習方法の支援を行っている。 		
2	島根県立宍道高等学校	(昼間夜間定時制 3部制)
<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目に「国語入門」、「数学入門」、「英語入門」、「漢字チャレンジ」、「社会生活基礎」を開講し、学び直しを図っている。また、「ガーデンライフ」(野菜・花卉栽培など)や「ものづくり」(高等技術校での木工やハウスアートなどの体験)の授業を通して、自己有用感を高めている。 		
3	島根県立宍道高等学校	(通信制課程)
<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目に「国語入門」、「数学入門」、「英語入門」を開講し、学び直しを図っている。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	島根県立松江工業高等学校	(夜間定時制)
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の支援を一元的に扱う分掌としてサポート部があり、定期的なサポート委員会や日々の連携などによって生徒に関する情報を共有し、支援に当たっている。 教育相談の充実のため、県の事業分(70時間)に加えて、PTAの負担で44時間分のカウンセリングを追加している。新入生全員にSCに会う時間を設け、その後は定期的に予定を入れ、SCと協力して生徒の状態把握に努めている。 		
2	島根県立浜田高等学校	(昼間定時制)
<ul style="list-style-type: none"> 就職試験の際、受験先の企業へ受験者本人の特性(書字に難があること)を伝え、作文試験でのPC利用を許可していただいた。 特性があり特別な支援を要する受験生への対応経験が少ない大学に対し、生徒の特性(広汎性発達障害)を説明し、受験に際し合理的配慮(別室受験、聴覚過敏のため静かな環境、聴覚情報だけでなく視覚情報の提示、終了時間等の見通しがもてる掲示物)を実施していただいた。 		
3	島根県立宍道高等学校	(昼間夜間定時制 3部制)
<ul style="list-style-type: none"> 車イス使用の生徒用に専用の机を準備した。 障がいのある生徒を支援する福祉サービス事業所と連携し、車イス使用生徒のスクーリングの際、担当職員が該当生徒の送迎やトイレの介助を行った。 		
4	島根県立宍道高等学校	(昼間夜間定時制 3部制) (通信制課程)
<ul style="list-style-type: none"> 発達障害者支援センターと連携し、月1回、教育相談を行っている。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	島根県立宍道高等学校	(昼間夜間定時制 3部制)
<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談日やオープンスクールにおいて、必要に応じて通訳を準備している。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	島根県立松江工業高等学校	(夜間定時制)
<p>・松江工業高校定時制教育後援会支援事業として奨学金制度(給付型毎年10名以内、一人10,000円)がある。</p>		
2	島根県立浜田高等学校	(昼間定時制)
<p>・母一人子一人の母子家庭生徒の母親が脳卒中で倒れ収入がなくなり家賃支払いが滞り借家からの退去を求められたが、県からの特別派遣SSWの働きで、生活保護費の受給が可能になり学習を続けることができた。</p>		
3	島根県立宍道高等学校	(昼間夜間定時制 3部制)(通信制課程)
<p>・必要に応じて本校配置のSSWが家庭訪問を行い、相談や行政へつないだりしている。</p>		

【岡山県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	岡山県立岡山操山高等学校	通信制
中学校までの基礎的な学習内容を取り扱う「数学入門」「英語入門」を、学校設定科目として開講している。		
2	岡山県立岡山操山高等学校	通信制
ホームページに『科目の部屋』を設け、家庭科の被服実習についての作業動画や、各科目の授業プリント、レポート解説プリントを掲載し、自学自習を支援している。		
3	真備陵南高等学校	昼間定時制
取組の概要…学校設定教科・科目「わかたけ」（漢字・計算・日常生活の3分野）を1年次生全員が履修する。内容は小学校から中学校までの基礎基本。教材は、校内でプリント作成、生徒の状況に応じて更新。入学時と1年次終了時に、漢字と計算の分野で基礎力テストを実施し、変化を分析する。 成果と課題…学び直し科目として単位認定するため、基礎学力の低い生徒も学習しやすい環境となっている。2年次以降の学び直し科目がないこと、系統的なソーシャルスキルトレーニングの内容が導入されていないので、専門的な視点での科目の見直しが必要である。		
4	岡山理科大学附属高等学校	通信制
学校設定科目：数学入門、英語入門を開講している。		
5	倉敷市立精思高等学校	夜間定時制
不登校経験生徒が約6割、中途退学経験生徒が約3割在籍しており、学び直しが必要な者が多い。習熟度授業やTTによる授業を実施し、きめ細かな指導を行っている。		
6	岡山県立鳥城高等学校	昼夜間定時制
・学び直しの学校設定科目「国語基礎」「数学入門」「英語基礎」を、3年修了の1年生が選択履修できるよう配置している。		
7	倉敷翔南高等学校	昼夜間2部定時制
学校設定科目ベーシック英語、ベーシック数学、ベーシック国語を設け基礎的な内容の学習を行っている。		
8	興譲館高等学校	通信制
小学校、中学校、共に学校に通えてなく授業が受けられていない生徒に関しては、小学校からの勉強が出来るように動画を配信している。また、人と接するのが苦手な生徒に関してスクーリングでの対応を極力少人数での対応にしている。		
9	備前市立片上高等学校	夜間定時制
多様な学習歴に配慮し、TTを導入するとともに、ICTを活用した視覚的に分かりやすい授業を展開している。基礎学力の充実を目指し、外部業者の基礎学力診断テストで生徒の学力を客観的に把握したうえ、本校で設定した「卒業時の学習到達目標」の達成に向けた段階的な学習活動に取り組んでいる。また、タブレットを使った学び直しにも取り組んでいる。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	岡山県立岡山操山高等学校	通信制
療育手帳を有する生徒の就職のため、ハローワークや障がい者就業・生活支援センターとの連携を図った。その後、生徒は障害者合同面接会に参加し無事内定した。		

2	岡山県立岡山操山高等学校	通信制	保護者等の同伴登校により、単独行動が多くなりがちな登校時の行動を支援していただくように配慮している。
3	岡山県立岡山操山高等学校	通信制	入学した生徒の情報について、保護者はもとより、出身中学校、前籍校にも文書による情報提供を依頼し、得た情報を学習指導、進路指導等に活用している。
4	真備陵南高等学校	昼間定時制	取組の概要…発達障害の生徒は約4割在籍している。入学前に全生徒の支援を要する状況の聞き取りを中学校訪問で直接行う。教職員には、ユニバーサルデザインの環境づくりや授業展開の声かけをしている。特別支援コーディネーターを通じて、SCやSSWと連携した相談を行っている。地域の福祉専門機関による教員研修を2回実施した。
5	倉敷市立精思高等学校	夜間定時制	数名の生徒が定期的にスクールカウンセラーによるコミュニケーショントレーニングを受けている。 岡山県が特別支援学校に配置している就労コーディネーターをサテライト的に定時制高校へも割り当てており、特別な支援を必要とする生徒の就労の相談を受けてもらっている。
6	岡山県立鳥城高等学校	昼夜間定時制	・月2回臨床心理士のスクールカウンセラーが来校、週1回大学院生のカウンセラーが来校し、希望生徒や保護者にカウンセリングを行っている。緊急対応等の状況に応じて、臨床心理士と連携を図り、医療機関へつないでいる。
7	倉敷翔南高等学校	昼夜間2部定時制	スクールカウンセラーに授業参観してもらい、支援についての助言を受けている。 就業支援コーディネーターに個別対応をしてもらっている。
8	興譲館高等学校	通信制	漢字が読めない、読みにくい生徒に関してフリガナを打ち対応している。資格修得にも対応し出来る範囲の資格修得をめざしている。スクーリングに関しても十分に指導できるよう少人数での対応を極力している。
9	備前市立片上高等学校	夜間定時制	授業のUD化（すべての授業で板書の形式を統一、ICTの活用、授業における導入のルーティーン）

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	真備陵南高等学校	昼間定時制	取組概要…数人在籍している。生徒本人の日本語指導は必要でないが、保護者と面談する際には、通訳が必要。特別な取組はなし。
2	岡山県立鳥城高等学校	昼夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、学習に用いるプリントや定期考査の問題の漢字にふりがなを付けている。 ・担任との面談の際に、電子辞書を使用させている。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	真備陵南高等学校	昼間定時制
取組状況…就学支援金や教育給付金の手続きを丁寧に繰り返し行っている。特別な取組はない。 成果と課題…手続きの申請書を提出するのも困難な家庭が多いため、事務的にも手が回らない。 全体的には、アルバイトやインターンシップなどの就労支援を進めている。		
2	倉敷翔南高等学校	昼夜間2部定時制
スクールソーシャルワーカーに相談し、適切な外部機関につないでもらっている。		
3	興譲館高等学校	通信制
インターネット視聴の際のタブレットの貸し出しを行っている。		
1	備前市立片上高等学校	夜間定時制
入学者選抜受検料、教科書代、補食費の自己負担なし		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	興譲館高等学校	通信制
出来るだけイベントごと参加やボランティア活動参加を促している。また、出来るだけ多くの 人との接する機会を増やし、自然との触れ合いもしている。		

【広島県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	広島県立福山誠之館高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学校設定科目「数学入門」を設置して、中学校から高校への橋渡しをしている。 ・1年次の国語、数学、英語、情報においてティーム・ティーチングを実施して、学習でつまづく生徒のケアを行っている。 ・1、2年次の体育、3年次の調理実習においてティーム・ティーチングを実施して、けが等の未然防止に配慮して授業を展開している。 		
2	広島県立可部高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・前授業において、進学希望生徒と就職希望生徒との授業内容を分け、希望進路に対して柔軟に対応しながら進路の保障を目指している。 ・長期休業中の補習や個人指導を充実させ、年間を通じて各種資格試験や検定試験、進学に向けた模擬試験の受験を積極的に推進している。 		
3	広島県立福山葦陽高等学校	昼間定時制
<p>1年次生は、授業は午前中のみとし、1クラス募集ではあるが、不安定な生徒が多く、学校生活が続けられる環境をつくるために、便宜上習熟度別クラスとして2クラスに分けてホームルーム・授業展開を行っている。実習・実技の得意な生徒のニーズに答え、実技科目を多く配置し、学習意欲の向上を図っている。</p>		
4	広島県立廿日市高等学校	夜間定時制
<p>学校設定科目「基礎数学」を1年次に開講して振り返り学習を行っている。</p>		
5	広島県立福山工業高等学校	夜間定時制
<p>通常の授業が少人数指導となっており、個別の生徒に応じて補習等を実施している。加えて、学校設定科目である教科国語の「言語生活」、教科数学の「数学応用」、教科外国語「英語応用」を設定し、基礎学力の定着を図っている。</p>		
6	広島県立松永高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師を活用して、TTでの授業を行っている。 ・スライドやカード等視覚的支援を充実させ、生徒の興味・関心を引出すようにしている。 		
7	三次高等学校	夜間定時制
<p>数学Ⅰ（標準単位数3）、コミュニケーション英語Ⅰ（標準単位数3）を、それぞれ5単位と4単位に増単して、基礎を振り返る時間を確保している。</p>		
8	広島市立大手町商業高等学校	(昼夜間定時制)
<p>国・英・数の3教科において習熟度別の少人数クラスを編成し、基礎クラスでは義務教育段階の学び直しを授業に取り入れている。</p>		
9	広島県立呉工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次には、基礎学習の充実を図るため、基礎科目をカリキュラムに取り入れている。 ・SHR前に登校させ数学等の補習(中学校の振り返り)を行っている。 ・生徒状況連絡会(中高連携)を設け、中学校での学びについて詳しく連携し、授業展開を工夫している。 		
10	広島県立西高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度までは、学校設定科目として、英語入門・数学入門を実施。今年度からは、新規入学生の募集停止を受け、廃止。 ○レポート作成を支援する教科別教室、コミュニケーション力等が不足している生徒へのサポート教室を組織的に開設している。 		

- 「学びの変革」アクションプランに基づき、自校の「目指す生徒像」「育てたい生徒像」を明確にし、生徒の基礎・基本的な学びに加え主体的・能動的で深い学びにつなげるための取組・工夫を推進した。すべての教科において、生徒の思考力・判断力・表現力を育むレポートづくりに取り組むとともに、能動的な学び、学習者基点の学び、深い学びを中心に据えて、授業づくりに取り組んだ。
- すべての教科において、ICT機器・拡大投影機等を活用するなど、視覚的支援を念頭に置きつつ授業づくりに工夫を凝らした面接指導を実施し、教科の枠を超えて広く公開した。また、生徒の思考力・判断力・表現力を育むレポートづくりに取り組み、能動的な学び、学習者基点の学び、深い学びを中心に据えた。
- 生徒との人間関係構築をめざし、担任・教科担当者による粘り強く丁寧な指導を継続することにより、生徒の学習意欲を高めた。

成果 ◎ 単位修得率の向上

課題 ● 学習意欲が全くない生徒への指導

● 閉校間近にあり、卒業が見込めそうにない生徒への指導

11	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
入学後すぐに学力確認テストを実施し、基礎基本の定着度、つまづき具合、学習課題を分析する。分析結果をもとに分かりやすい授業に努める。年度末に再度、学力確認テストを実施し、生徒の学力の伸びを測るとともに、取組を振り返り次年度の授業に反映させている。		
12	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
合格発表から入学式の間、前籍校（新卒は中学校、高校中退者には高校にも）と連携をとり、生徒の生活課題や学習課題を明らかにしておく。		
13	呉三津田高等学校	夜間定時制
全校26名であることから、年度当初より、全校合同授業（保健体育等）を実施して、横の関係で緊張感を強いられてきた生徒達に、縦（同じ経験を乗り越えた先輩）の存在を知らせ、希望を持たせる。		
14	呉三津田高等学校	夜間定時制
少人数であることから、授業中、国・数・英では個別のプリントで指導する。また、単元毎に、最低基準となる課題を用意し、できた生徒ができていない生徒に教えるという仕組みを作っている。		
15	呉三津田高等学校	夜間定時制
スクールカウンセラーによる全員面接で、それぞれの課題を明確にし、全教職員で共有し、指導する。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	広島県立宮島工業高等学校	(夜間定時制)
発達障害の専門医を年3回招聘し、1年生を中心に行動観察及び面談を実施した後、専門医が講師となり、全教職員を対象に生徒個々の効果的な対応等について校内研修会を行っている。		
2	広島県立可部高等学校	夜間定時制
・ADHD等により支援が必要な生徒に対して、スクールカウンセラーや療育センターとも連携しながら個別支援計画を作成し、定期的に情報交換会や教育相談委員会を開催し、学習活動に係る支援策も検討しつつ、進路の保障を目指している。		

3	広島県立福山葦陽高等学校	昼間定時制	授業においては、学び直しを主とした基礎学力の定着を図る授業の展開をバランスに配慮しながら実践している。授業では、「本時のめあて」「ながれ」「まとめ」のカードを使用し、今何をやっているかが見える形での授業展開を行っている。また、手帳を持っている生徒の就業体験等ハローワークや作業所と連携する中で、体験を実施している。
4	広島県立廿日市高等学校	夜間定時制	特別支援コーディネータが中心となって、特別支援学校やスクールカウンセラーと連携し、支援方法や支援体制を検討し、生徒への対応について全教職員が共通認識を持てるように研修会を実施している。
5	尾道市立広島県尾道南高等学校	夜間定時制	尾道市が配置する非常勤職員（17:00～21:00 勤務）の特別支援教育支援員2名及び教科アシスタント2名を、原則として1年生から4年生の各授業に位置付け、様々な困難性や特性を有する生徒を中心に指導・支援して、授業の中で『集団への指導』と『個別の支援』がバランス良く配置され教育効果を上げる取組を推進している。 また、『支援室』という名称で、授業中に興奮したり指導が難しくなったりした生徒のクールダウン等に活用する部屋を設け活用している。ここでも、上記の特別支援教育支援員や教科アシスタントの機能化を図り、臨機応変に対応している。
6	広島県立広島観音高等学校	昼間定時制	発達障害のため特別な支援が必要な生徒に対し、社会福祉法人広島障害者就業・生活支援センターと連携し、応募前企業見学、就労体験を行っている。その結果、本人の希望に沿う就職ができた。
7	広島県立福山工業高等学校	夜間定時制	特別支援教育コーディネータを設置し、通級に係る対応等の研修を実施している。また、生徒指導主事から発達障害や学習障害等の特別な支援を要する生徒の対応のため、参考となるテレビ放送や資料等を教職員に情報提供している。
8	広島県立松永高等学校	夜間定時制	・毎日の連絡会の中で、前日のすべての授業における生徒の様子や報告し、生徒状況の情報共有を行っている。
9	広島市立大手町商業高等学校	(昼夜間定時制)	広島市の制度である「特別支援教育アシスタント」を昼間部、夜間部それぞれ1名ずつ4時間配置し、授業中を中心に発達に課題のある生徒の個別支援を行っている。
10	広島県立呉工業高等学校	夜間定時制	・数学を強く拒む生徒については、保護者と連携し、段階的に教室に入れるように配慮している。
11	広島県立西高等学校	通信制	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての教科において、ICT機器・拡大投影機等を活用するなど、視覚的支援を念頭に置きつつ授業づくりに工夫を凝らした面接指導を実施し、教科の枠を超えて広く公開した。また、生徒の思考力・判断力・表現力を育むレポートづくりに取り組み、能動的な学び、学習者基点の学び、深い学びを中心に据えた。 ○ 様々な状況を抱える生徒に対しの確に対応するとともに、特別支援教育の視点に立った教育を推進するため、スクールカウンセラーを交えた特別支援教育・いじめ防止委員会を開催し、協議内容を全教職員で共有し、生徒の指導に生かしている。 ○ ユニバーサルデザインを意識した環境づくり（拡大印刷物掲示、教室内掲示）。 ○ ケース会議・事例を挙げての校内研修会の実施。スクールカウンセラーを講師に招へいしての、特別支援教育研修会の実施。 ○ 保健体育科の評価方法について 「見学」による授業参加を行わせ、「見学カード」を提出することで、出席扱いとしている。

成果	◎ 登校した生徒にとって、学習に対する障害となるものはない。 ◎ 発達障害等への教職員の理解が深まった。	
課題	● スクールカウンセラーによる短期間のカウンセリングでは、なかなか成果が現れない。	
12	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
ICT機器（電子黒板、書画カメラ、プロジェクター、パソコン等）の活用。		
13	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
発表用の小型ホワイトボードを生徒全員分用意して、フリップ方式の授業展開を研究している。授業への参加意識の向上、他者からの認知、達成感の高揚等の効果が期待される。		
14	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
授業や教室のユニバーサルデザイン化。プリント、板書、掲示物等。		
15	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
特別支援学校との連携（SSN：しまなみサポートネットワーク 職員研修、特別な支援、合理的な配慮、個別支援計画の作成等について）		
16	呉三津田高等学校	夜間定時制
特別支援教育コーディネータ（広島県では各校に1名、県教委が承認する）を中心に特別支援教育委員会を定期的に関き、支援の必要な生徒の個別の支援計画を作成し、全教職員で、合理的配慮に努める。作成については、特別支援学校の包括的なコーディネータに指導助言を受ける。		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	広島県立海田高等学校	夜間定時制
<p>総合的な学習の時間に「日本語講座」を開講している。外国籍生徒3名に受講させ、特別非常勤講師による日本語指導を行い（年間10時間程度）、日本語能力試験の受験を目指して取り組ませている。</p> <p>また、全教科で、授業ではルビ付きプリントを使用し、定期試験でもルビ付きで試験問題等を作成している。理科では、英語に訳したプリントと、そこで使用される英単語とそれを母国語の単語に変換したものを一覧にしたプリントを配付している。</p>		
2	広島県立西高等学校	通信制
<p>○ 担任による個別指導。 ○ 指導要録確認による外国籍生徒の状況把握と情報共有。 △ 担任による日本語指導は、長期間を要するため、単位修得への道のりは長い。</p> <p>課題 ● 外国籍生徒に特化した組織的な取組はない。</p>		
3	広島県立福山工業高等学校	夜間定時制
<p>教職員対象に「わかりやすい日本語講座」という研修会を実施し、授業や生徒・保護者への配付物及びホームページ等を日本語がわかりやすいように配慮している。また、定期考査においては、ベトナム語や中国語を簡易に使用するなど、問題を理解しやすいように努めている。</p>		
4	広島県立松永高等学校	夜間定時制
<p>・生徒の教材には、必要に応じてルビをふっている。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	広島県立可部高等学校	夜間定時制
<p>・生活リズムを確立させ、学習意欲を喚起させる目的で生徒の就労活動を勧め、ハローワーク可部とも連携して就労支援を行っている。</p>		

・給付型の奨学金受給の案内を積極的に紹介し、修学に困難を抱える生徒に対しては個別に担任から申請するよう指導している。		
2	広島県立福山葦陽高等学校	昼間定時制
修学給付金の手続きを丁寧に取り組んでいる。現在の給付割合は、28%で学年諸費等に当てている。また、2年次生以上にはハローワークと連携し、アルバイト等の就業を推進し、70%以上の生徒が学校終了後アルバイトで学費、生活費を稼いでいる。		
3	広島県立福山工業高等学校	夜間定時制
在学中での就労活動を推奨しており、社会に必要とされる基本的な資質・能力の育成を図るとともに、スクールカウンセラーを活用し、修学における経済的な不安の解消に努めている。		
4	広島県立松永高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年時から就労支援を積極的に行っている。 ・就学奨励費や就学給付金等の支給により、支援が行われている。 		
5	広島県立西高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金（受講料補助） 約200人 ・修学奨励金（勤労者に貸付 14,000円/月） 2人 ・教科書補助（教科書代全額補助） 約40人 ・奨学金制度の紹介。 		
6	広島県立 因島 高等学校	夜間定時制
生徒の勤務先、アルバイト先との連携を綿密に行っている。		
7	呉三津田高等学校	夜間定時制
修学奨励金や奨学金など、公的な支援に関して、保護者にも再三説明して、利用を促す。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	広島県立可部高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・該当生徒は存在しないが、広島県安佐北警察署生活安全課長に学校評議員として多様な意見を幅広く求め、学校運営の状況などを周知して、支援・協力を得ている。 		
2	広島県立福山工業高等学校	夜間定時制
<p>入学後、県立の児童自立支援施設と生徒・保護者、担任、生徒指導主事、管理職と数回にわたり連携を行い、規則正しい集団生活を通して、健全なる社会の一員として自立できるように支援している。</p> <p>また、広島県警福山東署と連携し、全校生徒対象に犯罪の未然防止研修会を毎年実施し、生徒の規範意識の向上に努めている。</p>		
3	広島県立西高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ○ 警察との連携。県教委への報告。平成29年度 12件、平成30年度（10月末まで）5件。 ○ 警察関係者を招聘しての教職員研修会の実施。 ○ 毎月の問題行動数報告（県教委へ、問題行動数・転退休学者数） ○ 新規入学生募集があったころには、中学校・保護司連携。 ○ 家庭連携、反省文・説諭等。 <p>課題 ● 問題行動生徒は、学校に位置づいていない場合が多く、指導が困難である。</p>		

【山口県】

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	徳山高等学校	夜間定時制
合意的配慮協力員に、週1回その関係生徒の授業に参加してしてもらっている。		
2	山口高等学校	夜間定時制
生徒支援部を新たに立ち上げ、研修を含む特別支援教育に関する連絡・調整を行っている。 通級指導は週1回0次限目を設定し、単位認定をすることとしている。 通級担当教員と一緒に、全教員一人ずつが通級の授業に参加して、「通級による指導」についての理解を深めている。		
3	岩国商業東分校高等学校	昼夜間2部制定時制
生徒が、いらいらしたり、感情が高ぶったりしたときに、落ち着かせるためのクールダウン部屋を準備している。		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宇部中央高等学校	夜間定時制
入学前に中学校の教員等とケース会議を実施。その後、生徒の状態、家庭状況等を踏まえて、市こども・若者応援課、児童相談所、家庭児童相談所、施設の家家庭支援センター、市生活支援課などとケース会議や要保護対策協議会等を開催している。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	小野田工業高等学校	夜間定時制
SSWとの連携(SSWを通して医療、福祉等とも連携)、担任から定期的に食生活についての情報収集、機会を捉えて保護者との面会、自炊に向けた調理等の指導(計画中)、機会を捉えて養護教諭等から適切な栄養摂取の必要性について指導している。		

【香川県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	香川県立三木高等学校	夜間定時制
学校設定科目：英語基礎、基礎数学を開講して、中学校の振り返り学習を行っている。		
2	香川県立高松高等学校	夜間定時制
○標準単位数より多く授業時間を確保して、中学校の内容を復習しながら履修させている。 例えば、数学Ⅰ（標準単位数3）を5単位、国語総合（標準単位数4）を5単位にして履修させている。		
3	香川県立高松工芸高等学校	夜間定時制
成績不振生徒に対して考査後も継続して指導を行い、遅れを取り戻せるように指導している		
4	香川県立丸亀高等学校	夜間定時制
低年次の英語・数学で、少人数指導を実施。また、組織的な対応ではないが、極端に学力が低い生徒には、始業前等に個人指導を実施している。		
5	高松中央高等学校	通信制
学校設定科目として、国語入門、数学入門、英語入門を開講し、戻り学習を行っている。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	香川県立小豆島中央高等学校	夜間定時制
知的障害が疑われる生徒に対して、始業前の時間に小学校からの算数の振り返りの課題をさせる個別指導を行っている。また、定期考査前には、テスト対策の個別指導を行っている。		
2	香川県立三木高等学校	夜間定時制
車イス生徒（現在は在籍なし）のために、エレベーターの使用を認めている。		
3	香川県立高松高等学校	夜間定時制
○年度当初、生徒と保護者からの要望を聞きとり職員共通理解のもと指導している。		
4	香川県立高松商業高等学校	夜間定時制
不定期ではあるが、SSW や SC に発達障がい診断がある生徒の在籍するクラスの授業観察を行ってもらっている。その生徒と他の生徒の人間関係や授業中の様子を観察していただき、教員に助言をお願いしている。ADHD を持つ生徒には、面接と SST を実施し、生徒本人の学校生活をサポートしていただいている。コミュニケーション能力や情緒のコントロールなど生徒がとて成長した様子を見せている。また、個々の支援を必要とする生徒の指導計画を作成し、卒業後の進路実現や他機関への円滑な移行を目指している。		
5	香川県立高松高等学校	通信制
歩行が不自由な生徒のためにエレベーターを設置している。		
6	香川県立丸亀高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・添削指導における報告課題について、ユニバーサルデザインの観点からフォントや文字の大きさ及び記入欄の工夫をしている。 ・平日に補助スクーリングと称して初級講座と進学講座に分けて実施している。今年度からは初級講座の数学において、より小人数での学習ができるよう2講座に分けて実施している。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	香川県立高松高等学校	夜間定時制
○外国籍の生徒には、難解な言葉の意味を英語で説明したり、漢字にはルビを入れたりして個別対応している。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	香川県立高松高等学校	夜間定時制
○各奨学金の紹介をしている。 ○ジョブサポートティーチャと連携してアルバイト先の紹介を行なっている。		
2	香川県立丸亀高等学校	夜間定時制
4人の子どもを持つ父子家庭に対して、SSWを通して、市役所と情報交換をしている。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	香川県立高松高等学校	夜間定時制
○生徒本人が責任感や自己肯定感（誇り）を持って、仕事や授業に参加できるよう職員の共通理解のもと指導する。毎週、職員ミーティングで生徒情報交換を行ない指導方法の共有を行なう。必要に応じて、保護者、関係機関と連携する。		

【愛媛県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛媛県立川之江高等学校	夜間定時制
<p>定期考査期間中は、開校1時間前から全生徒対象に質問の時間を設けている。今年度は73歳の高齢の生徒が在籍しているので、毎日2時間の補講(自主的)を行っている。また、定期考査で欠点科目取得の生徒については、長期休業中に1週間の補講を行い学習習慣が身に付くように指導を行っている。</p>		
2	愛媛県立新居浜西高等学校	夜間定時制
<p>英語科(コミュニケーション英語基礎・英語I)、数学科(数学I)において習熟度別授業を行っている。夏季休業中に、希望者対象の補習授業を10日程度行っている。</p>		
3	愛媛県立西条高等学校	夜間定時制
<p>高校入学後から、新しい自分を求めて頑張る生徒が多い。約3時間前から登校する生徒もおり、職員室で勉強できる環境を整えている。放課後も、勉強して帰る生徒が数名おり、適宜質問等に応じている。</p>		
4	愛媛県立今治西高等学校	夜間定時制
<p>早く登校した生徒のために職員室の一部を開放して机、椅子を設置し、自主学習や交流の場として活用している。また、校務に支障がない場合は、職員室内にある応接室も同様の目的で開放し、必要があれば個別指導するなど、生徒の学習ニーズに応えている。</p>		
5	愛媛県立松山商業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・ 休みがちな生徒や理解が十分でない生徒について、長期休業中を利用して、数学・英語・商業科目(簿記や情報処理)の個別の補習指導を実施している。 ・ 家庭との情報共有を図り、一人一人の生徒の実態に合わせた指導を工夫している。生徒が、登校できるように家庭との連携を密接にしている。 		
6	愛媛県立松山南高等学校	夜間定時制
<p>「基礎学力を養いたい」「大学進学を目指した学力を身に付けたい」などの生徒のニーズに応えるため、始業前(14時頃から17時頃)には進路指導室を毎日開放し、ここで10名程度の生徒が自身の学習したい科目に取り組んでおり、質問事項があるときにはいつでも各科目の担当教員が対応できる体制を取っている。また、コミュニケーション英語I(週3時間)及びII(週4時間)では、習熟度別授業を実施している。更に、長期休業中には「中学数学」など、基礎を学び直す講座も開講し、生徒のニーズに対応している。</p>		
7	愛媛県立松山工業高等学校	夜間定時制
<p>全教職員に個々の生徒の状態や性格を入学の際に連絡・報告し、全教職員が情報を共有して一人一人に対応している。</p>		
8	愛媛県立大洲高等学校脇川分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校設定科目「産業社会と人間」において、漢字の基礎を学習し、個にあった漢字検定を受験させている。 ・ 数学、英語については、「T・T」で授業を行いサポートしている。 ・ 中学時代から、不登校生徒を対象とした「おおずふれあいスクール」「うちこふれあいスクール」に在籍していた生徒もおり、本校に入学後も「ふれあいスクール」と連携し、継続指導を行っている。 ・ 放課後等を利用して、個別指導を行っている。 ・ 長期休業中に補習を設定するなどして、補充している。 		

9	愛媛県立八幡浜高等学校	夜間定時制
全校生徒のうち、不登校生徒、中途退学経験生徒のほうが多いので、どの授業も生徒の習熟度に合わせたものになっている。		
10	今治精華高等学校	通信制課程
平日登校を促し、自習室での基礎的な学習指導を行っている。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛媛県立川之江高等学校	夜間定時制
<p>年度初めに、全職員参加のもと支援会議を開催している。中学校からの引継ぎや、保護者からの希望により対象生徒について、本校職員、保護者、市教育委員会、ジョブアシスト等が参加し一人当たり2時間の話し合いを行い、全職員が共通理解のもと効果的な教育活動に取り組めるようにしている。また、緊急な対応については、特別支援コーディネーターを中心にミーティングを適宜開き、対応している。</p>		
2	愛媛県立新居浜西高等学校	夜間定時制
<p>知的支援が必要な生徒について、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、全教職員が共通理解のもと、指導を行っている。昨年度は支援学校の就労支援コーディネーターと連携し、生徒の進路実現につながる支援を行った。</p>		
3	愛媛県立西条高等学校	夜間定時制
<p>西条市の適応指導教室や支援センターに協力してもらい、個別の指導計画の作成からアドバイスをいただいている。しかし、4年次に不登校が再発するなど、まだまだ課題も多い。</p>		
4	愛媛県立松山南高等学校	夜間定時制
<p>支援が必要と認められる場合には、保護者と連携し特別支援コーディネーターを中心に全教職員で情報共有を行うとともに、その後の支援方針について協議している。なお、必要に応じて、特別支援学校のコーディネーターにも支援を要請し教育計画を立てるなど、個に応じた取組を行っている。</p>		
5	愛媛県立松山工業高等学校	夜間定時制
<p>入学の際に、中学校や保護者から対応方法を聞いて対応していく。また、保護者や担当医師との連携も行った。それを全教職員で共有し対応していく。生徒の現状や成長状況を学年ごとに調査した。</p>		
6	愛媛県立大洲高等学校肱川分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・数学、英語については、「T・T」で授業を行いサポートし、教科によっては実習助手を配置している。 ・療育手帳を所持し、希望した生徒はジョブカフェ愛Workと連携し、進路指導を行っている。 ・放課後等を利用して、個別指導を行っている。 ・長期休業中に補習を設定するなどして、補充している。 ・療育手帳を所持している生徒は、教科書無償制度の利用を促している。 		
7	愛媛県立八幡浜高等学校	夜間定時制
<p>該当生徒2名について、指導計画を作成する予定である。</p>		
8	今治精華高等学校	通信制課程
<p>自分の手で書くことが難しい生徒のために、各教科レポートの作成に関して、パソコンでの記入を認めている。</p>		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛媛県立新居浜西高等学校	夜間定時制
<p>外国籍生徒が1名在籍しているが、日本語の理解が十分にできており、特別な日本語指導は行っていない。授業において不明な点はその都度分かりやすく説明を行うようにしている。(上記(2)に該当)</p>		
2	愛媛県立宇和島東高等学校	夜間定時制
<p>各教科やホームルーム活動、特別活動等様々な場面で支援を行っている。教科においては、特に国語や地歴公民で不便を感じているため、国語の一部の授業では英語科教員が横に座り IT の形をとり支援、地歴公民では教科書に振り仮名を打つことで支援、他の教科でも放課後や長期休暇を利用し個別に指導したり、仲の良い生徒数名にサポートさせたりしている。また、各種アンケートなどは英語バージョンを作成し支援している。</p> <p>対象生徒は「学校が支援してくれている」という気持ちを強く持ち、「それに応えなければ」という思いから努力し、成果も上がっている。また、周りの生徒を巻き込むことで、国際理解や人権意識の向上にもつながった。</p>		
3	愛媛県立西条高等学校	夜間定時制
<p>本年度、学校設定教科「Japan」を設定した。日本に関する知識・理解を深め、高校生活を円滑に送るための一助とすることを目標としている。現在、外国籍生徒2名(ペルー、中国)に対して、0限に授業を行い、教科横断的にすべての定時制教員が項目ごとに担当している。「Japan A」を3単位で、この科目を履修・習得した後、より高度な「Japan B」を3単位で受講できるようにした。今後、ますます外国籍の生徒たちが増えることを想定しての実施である。</p>		
4	今治精華高等学校	通信制課程
<p>中国籍の生徒が1名いるが、基本的な読み書きが出来だしたので、現在は特別な指導はしていない。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛媛県立川之江高等学校	夜間定時制
<p>授業料免除や奨学金等により対応している。本年度、母親が亡くなり一人で生活している生徒が在籍しているが、アルバイトの斡旋や定期的な家庭訪問・電話連絡等で、担任を中心に全職員で対応している。</p>		
2	愛媛県立松山工業高等学校	夜間定時制
<p>キャリア教育の推進も含め、入学後に生活が落ち着いたら、アルバイトの実施を促している。</p>		
3	愛媛県立大洲高等学校肱川分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・条件が満たす生徒については、教科書無償制度の利用を促している。 ・該当するであろう奨学金の情報提供に努めている。 ・ハローワークからの情報を随時提供し、進路実現を見据え、アルバイトを推奨している。 		
4	愛媛県立西条高等学校	夜間定時制
<p>入学以来、校納金が入金されない家庭に対しては、事務室と連携して、事務長に保護者面談をしてもらった。少しずつ、返済していく計画を立てているが、なかなか現実は厳しい。</p>		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛媛県立川之江高等学校	夜間定時制
問題行動による謹慎期間中の指導は、校内で行っている。謹慎期間中は教職員が付き添い、生活指導や学習指導を行い、謹慎解除後の学習に支障のないようにしている。		
2	愛媛県立西条高等学校	夜間定時制
不登校の生徒は多く入学しているが、非行歴のある、あるいはその傾向の強い生徒はここ数年減少している。昨年、今年と特別指導は現在まで0で、特に対策はしていない。		
3	愛媛県立松山工業高等学校	夜間定時制
入学後、非行歴などを全教職員が共有して、性格など把握して対応し、卒業できるよう指導している。施設にいた生徒は、施設の職員とも連携した。		

【高知県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	高知北高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・新入生に対してスクーリング、レポートの作成・提出、通信制の学校生活等が理解できるように入学式でDVDを配布し、単位修得や中退防止に努めている。 ・ピアサポーター（高知大学生）による生徒の悩み相談や学習支援。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	高知北高等学校・太平洋学園	通信制／定時制・通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習障害の生徒のレポートや定期試験にルビを付けている。 		
2	中芸高等学校	昼間部
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生全員を対象にソーシャルスキルアップトレーニング（学校設定科目）を置き、コミュニケーションの向上を図っている。 ・中芸タイム（学校設定科目）を設け、教員と生徒の対話を重視した授業を実施。 		
3	中芸高等学校・高知商業高等学校	昼間部／定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象の「カウンセラーだより」を発行している。 		
4	高知商業高等学校	定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによる入学後の新入生の全員面接を実施している。 		
5	中芸高等学校	昼間部
<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に特別支援学校の分校が同居し、生徒や教員の交流が行われている。通級指導についても特別支援学校の教員と一緒に授業作りに取り組んでいる。 		
6	高知北高等学校	昼間部・夜間部・通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、医療アドバイザー（大学教授）のカウンセリングを受けることができる。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	高知北高等学校	昼間部
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境が厳しい生徒や母子家庭に対して、スクールソーシャルワーカーが市役所や外部機関との交渉に立ち会い、サポートしている。 		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	高知工業高等学校	定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動で謹慎指導になった生徒へのカウンセリングをスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが実施している。 		

【福岡県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福岡県立浮羽工業高等学校	夜間定時制
授業においては授業担当者が個別に学習支援を行うとともに、毎考査前の補講を各教科で実施し、学力の向上を図っている。		
2	福岡県立朝倉高等学校	夜間定時制
学習面でのサポートとして各定期考査の後に補講を実施し、生徒のつまずきについて理解、学習支援を行っている。 課題としては、授業をカットしての補講となっているため、授業時数の確保という観点からみると問題が残る。		
3	福岡県立福島高等学校	夜間定時制
義務教育課程での学習内容が定着していないので、各科目振り返り学習を中心としている。また授業開始前の時間を利用した個別対応を行っている。		
4	福岡県立三池工業高等学校	夜間定時制
1学期中間考査までの導入期の指導において、1年生のクラスを二分割し、国語や数学の習熟度に応じた学び直しの指導を行っている。		
5	福岡県立大川樟風高等学校	夜間定時制
積極的に声掛けを行うとともにSC、SSWと連携を図っている。また、個別の指導も行っている。		
6	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制
教室の座席を詰めると、不安定になる生徒がいるため、生徒間を出来るだけあける工夫を行っている。		
7	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制
学力差が大きいいため、プリントを中心に学習を進めている。		
8	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制
教室の授業においては、全教員が電子黒板を活用している。		
9	福岡県立東鷹高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業の展開。 ・個別に教材プリントや課題の提供を行い、事後の手厚い指導を実施。 		
10	福岡県立京都高等学校	夜間定時制
不登校生生徒に限らず、学習経験のない生徒がほとんどである。授業では、基礎的な知識・技能をプリント学習で習得させている。板書の際も、丁寧にゆっくり書くようにしている。		
11	福岡県立小倉南高等学校	夜間定時制
ICTを活用して授業に参加する姿勢を養い、できたときには褒めることで学びに対してのモチベーションを高めている。また授業を補助する学習プリント等で基礎基本の徹底を図り、基礎学力を身につけさせている。		
12	福岡県立ひびき高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
国語と数学に「入門国語」「数学入門」も講座を開講して、義務教育段階の学力定着を図っている。また、同一講座名であっても、難易度の異なる次のような講座を設置して、生徒に自由に選択させている。基礎（就職・専門学校） → 標準（専門学校・短期大学） → 発展（短期大学・大学） → 応用（センター試験）		
13	福岡県立若松高等学校	夜間定時制
定期考査時の前後の空き時間を利用した、補充授業や質問教室などを設定。		

14	福岡県立八幡中央高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生数学ⅠはTTで個別対応ができる授業を行っている。 ・集団に不適応な生徒が、考査を受験する際や全校での行事に参加の際は、別室対応等を配慮できる態勢を整えている。 ・考査問題における基礎的な問題の充実
15	福岡県立博多青松高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制	<p>科目に「基礎」「標準」「発展」という難易度を付している。授業の内容・進度や毎日の課題等が異なる。よって。進路希望や得意・不得意に応じていずれかを選択できる。単位制であるため、前籍校の単位を引き継いだり、技能検定、定通併修により修得した単位も組み入れることができる。</p>
16	福岡県立博多青松高等学校	通信制課程 単位制	<p>平成9年度の学校開設時からSC及びSSWが配置され、生徒の多様な相談に対応している。</p>
17	福岡県立福岡工業高等学校	夜間定時制課程	<ul style="list-style-type: none"> ・定通併修により修得した単位も組み入れることができる。 ・SC及びSSWを利用した生徒の多様な相談に対応している。 ・実習科目を中心としたものづくりによる学習意欲の喚起。
18	福岡県立糸島高等学校	夜間定時制課程	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の（誰でも時間をかければやり遂げられる）プリント課題を作成して、平常点で評価できるようにしている（学び直しの取組）。 ・教材作成の際、日常使用する語句をおりませ、教科書の内容を簡略化したり、図式化するなどして視覚的に見やすい工夫をしている（ICTの活用等）。 ・基礎的な内容（中学校の復習等）を中心とした授業展開をしている。授業中に各生徒の到達度に合わせた個別指導を行っている（個別指導の取組、一人ひとりの生徒への配慮）。 ・配布したプリントの字が読めず、そのことで学習に対する意欲がなくなる生徒もいるので、できるだけ漢字に読み仮名を記入し、学習意欲を維持させるよう工夫している。
19	福岡県立筑紫中央高等学校	夜間定時制課程	<ul style="list-style-type: none"> ・全教室にICTを活用するための機材が設置されており、ほぼ全ての教員がICTを活用した授業を行っている。また、学力に差が大きく見られがちな数学の授業は、習熟度のクラス編成を行い、生徒の学力に応じた授業を実施している。教科によっては、個別対応も行っている。
20	福岡県立明善高等学校	夜間定時制課程	<p>数学の授業は、習熟度のクラス編成を行い、生徒の学力に応じた授業を実施している。教科によっては、個別対応も行っている。</p>

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	福岡県立浮羽工業高等学校	夜間定時制	<p>特別支援コーディネーターを中心に個別の教育支援計画を全校生徒分作成し、全職員で加筆等を行いながら情報を共有している。また、週の初めに毎週生徒情報交換会を行い、前週の生徒の様子を全職員で確認している。</p>
2	福岡県立朝倉高等学校	夜間定時制	<p>支援を必要とする生徒に対し、補講を行って理解度を高めるようにしている。SSWとの連携により、特に保護者の疑問や課題についてアドバイスを頂いたり直接話して頂いたりして、改善の方向に向かっていくことが出来ている。</p>

3	福岡県立福島高等学校	夜間定時制	車いす等を利用する生徒のために、校内にエレベーターを設置している。(今までに在籍者なし) また、SCや訪問相談員等と連携し、対応している。
4	福岡県立三池工業高等学校	夜間定時制	教育相談を主管する校務分掌として、生徒支援部を設置している。個別の事案に応じてSSWを招聘し、児童相談所とも連携を取っている。
5	福岡県立大川樟高等学校	夜間定時制	特別支援コーディネーターを中心に個別の支援計画を作り全職員で取り組んでいる。
6	福岡県立鞍手高等学校	夜間定時制	発達障害が疑われる生徒へは、保護者の承諾を得てSCへ繋ぎ、学校として出来る合理的配慮を検討し全職員へ周知している。残念ながら合理的配慮が、学力向上となかなか結びついていない現状である。また、手帳取得等は、保護者の理解が得られていない。
7	福岡県立鞍手高等学校(豊翔館)高等学校	分校・昼間定時制	事故を起こし、脳を損傷、高次脳機能障害(第二種知的障害者)と認定された生徒の指導について、本人、母親、担任と大学病院主治医、リハビリテーション科作業療法士、高次脳機能障害支援コーディネーター、障害者基幹相談支援センター相談員の7者で協議を進め、できるだけだけの支援を行った。
8	福岡県立嘉穂高等学校	夜間定時制	発達障がい疑いのある生徒に対して、SSW、市役所子育て支援課、心療内科、障がい者就業・生活支援センター、大学(学生ボランティア)等の関係機関と連携しながら、ケース会議を基に、卒業後の就業支援を継続的に行っている。
9	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制	教室の授業において、共通して授業の導入時に「本時のめあて」を板書し、めあての説明と本時の授業内容(進め方)について説明している。
10	福岡県立東鷹高等学校	夜間定時制	・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用。 ・個別の指導計画を作成し、全職員で共通した学習への支援を実施。
11	福岡県立京都高等学校	夜間定時制	・理解できないと不安げな表情をするので指示や説明は簡潔にわかりやすく伝えている。 ・ノートを取るのがあまり得意ではないので、板書のスピードに配慮している。 ・すぐに集中力がなくなるので、こまめに声をかけて、今何をすべきか伝えるようにしている。
12	福岡県立小倉南高等学校	夜間定時制	・エレベーターの設置。 ・発達障がい等、配慮を要する生徒の情報交換会(2ヶ月に1回程度・全職員参加)の実施と、個別の支援計画の作成。 ・SCによる1年生全生徒の個別カウンセリング。
13	福岡県立ひびき高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制	・選択制緘黙の生徒：授業中でのホワイトボードの持参・使用 ・集団で極度の緊張、後方から視線が気になる：座席の位置(後方座席) ・学習障害(聴くと書くが同時にできず、書写が困難)：デジカメ、ボイスレコーダーの利用 ・視覚過敏：サングラスの常時着用
14	福岡県立若松高等学校	夜間定時制	障がいの内容や程度に合わせ、入学時の聞き取りから得た要望をもとに個別に対応。
15	福岡県立八幡中央高等学校	夜間定時制	・市の発達障害支援機関との連携。 ・拡大プリント等。

16	福岡県立博多青松高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚過敏やアスペルガーの生徒に対してデジタル耳栓を使用させている。 ・すべて移動教室、座席も個人の特性に応じてほとんどが自由に座れる。すべての教室は物や注意力散漫になるような書籍類や掲示物が一切ない。基本、机と椅子と黒板と時計のみ。 ・突然の変化に対応しづらい生徒のために、基本的に時間割変更は一切ない。 ・SC とのケース会議の際に、授業での留意事項を確認して、各教科担当者に周知をしている。 ・書字障害やアスペルガー等、個々の生徒に対する配慮すべき事項を医療関係者やSC と協議をして、教科担当者に周知をしている。 ・通級による指導の拠点校として取り組んでいる。通級担当教員2名（教諭）と通級指導教員2名（非常勤講師）による指導。 		
17	福岡県立博多青松高等学校	通信制課程 単位制
定時制と同じ。		
18	福岡県立福岡工業高等学校	夜間定時制課程
<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の際に、授業での留意事項を確認して、各教科担当者に周知をしている。 ・通級による指導を利用して拠点校との連携を図りながら対象生徒の指導を行っている。 		
19	福岡県立糸島高等学校	夜間定時制課程
<ul style="list-style-type: none"> ・在籍時には段差のあるところに仮設のスロープを設置したり、教室移動時間や課題の提出期限に時間的配慮を申し合わせて対応した。 ・教室前方の掲示物を減らし、視覚的情報の簡素化に努めている。また、考査でのルビ打ち等生徒の学力に応じた配慮を行っている。考査点だけでなく、授業中の取組を評価に生かしている。 ・実習など進み具合に差が出そうな場合は、個別に対応し、自分で進めることができるようプリントや課題を工夫している。 		
20	福岡県立筑紫中央高等学校	夜間定時制課程
定期的な生徒支援会議を行い、SSWの助言・指導の下に情報共有や、個別の支援方法等について取組を行っている。昨年度まではこうした取組は行われていなかったため、現在試行錯誤しながら取組を深めている。		
21	福岡県立明善高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの設置。 ・発達障がい等、配慮を要する生徒の情報交換会（毎週1回程度・全職員参加）の実施。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福岡県立小倉南高等学校	夜間定時制
今年度外国籍の生徒が入学してきた。国語、英語、現社の3教科・科目に関しては、内容を理解するために英語のサポートが必要との判断から、IT を組んで授業を行っている。		
2	福岡県立ひびき高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
今年の2月に帰国した生徒が、在籍している。日本語の理解ができなかったため、学力検査の国語や数学は、ほとんど白紙の答案であった。10月になり、簡単な日常会話ができる程度の理解力が身につけてきたが、一斉授業では十分な理解まで至っていない。そのため、県教育委員会が実施している「県立高等学校等特別支援教育ボランティア活用事業」を希望する予定である。近隣の大学に在籍する学生に、授業等における教員の指導補助の支援を考えている。		
3	福岡県立若松高等学校	夜間定時制
授業開始の前に特別時間割を組んで指導を行っている。教科指導とともに、日本語指導も並行して行い、授業の理解度を上げる取り組みを行っている。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福岡県立浮羽工業高等学校	夜間定時制
アルバイト等の就労を推奨している。年に一度職場を訪問し、雇用主と勤務や通学の情報交換を行い、学校行事等で通学時間が変わる場合は協力をお願いする文書を学校より発出するなど就労継続に向けた支援を行っている。		
2	福岡県立朝倉高等学校	夜間定時制
対象生徒について、SSWを通して、事務職員のアプローチの方法を相談したり、保護者とも面談をするなどして支払い計画を策定したりしてサポートしている。		
3	福岡県立福島高等学校	夜間定時制
入学時に働くこと、学ぶことの重要性を伝え、地域のハローワーク等からの情報を提供し、働くことを推進している。また、地域の子育て支援課と連携して、家族状況等も情報収集し、対応している。		
4	福岡県立三池工業高等学校	夜間定時制
始業時間をアルバイトの終業時間に合わせて遅らせるなど、就学・就業しやすい環境を作っている。市内の関係機関による子ども支援ネットワーク個別ケース会議に出席し、情報共有と協働を図っている。		
5	福岡県立大川樟風高等学校	夜間定時制
ハローワークの担当者との連携を密にし、就業支援を行っている。また、随時職場訪問を行っている。		
6	福岡県立嘉穂高等学校	昼間定時制
校納金未納者に対して、本人・保護者との面談による督促をはじめ、4者面談（本人・保護者・担任・事務担当者）による完納計画書の作成及び担任と事務担当者による家庭訪問を行い、サポート・督促を行っている。		
7	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制
アルバイト等の斡旋と奨学金の活用等。		
8	福岡県立東鷹高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金制度や給食費補助及び各種奨学金の案内。 ・SSWが当該生徒の家庭と福祉を結びつけながらベストな方向性を見出している。 		
9	福岡県立京都高等学校	夜間定時制
SSWを通して、市役所と連携し児童扶養手当等の手続きを行い、学校事務は校納金未納の保護者に対して支払い計画を策定している。		
10	福岡県立小倉南高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金、奨学給付金、夜食費補助、就学奨励金の公的な機関のものだけである。 ・民間企業等が行う給付型の奨学金に関しては、在籍する生徒の家庭情報を集め、経済的に厳しい家庭を推薦するようにしている。 ・アルバイトはできるだけ行うよう勧めているが、斡旋等はしていない。 		
11	福岡県立ひびき高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
SSWと連携しながら、校納金等の支払い計画を策定して、サポートしている。		
12	福岡県立若松高等学校	夜間定時制
様々な支援策を事務室との協働により取り組んでいる。学校OBが営む企業でのアルバイトや様々な支援制度の活用により、学校を続けられる環境づくりを行っている。		

13	福岡県立博多青松高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
SSWの拠点校である。SSWを有効活用している。		
14	福岡県立博多青松高等学校	通信制課程 単位制
今年度より、経済的な理由での6ヶ月間（半期・1回限り）の休学を許可		
15	福岡県立福岡工業高等学校	夜間定時制課程
SSWと協議して小中学校や行政との連携を図っている。		
16	福岡県立糸島高等学校	夜間定時制課程
該当する生徒には、事務室からきめ細やかな案内がされている。また、就労している全ての生徒の職場訪問を実施し、雇い主との連携が取れるようにしている。求人情報を生徒に紹介したり、掲示したりしている。また、授業料等を滞納している家庭とは電話連絡や家庭訪問で連絡を密にし、コミュニケーションをとっている。		
17	福岡県立筑紫中央高等学校	夜間定時制課程
<ul style="list-style-type: none"> ・学費の長期滞納者に対しては、教務主任及び事務担当者が中心となって、電話連絡や、場合によっては家庭訪問などの督促を行っているが、これといった解決策が見いだせていない状況にある。 ・奨学金や支援金については、全生徒に対して丁寧な案内を行っている。 		
18	福岡県立明善高等学校	夜間定時制
ハローワークの担当者との連携を密にし、就業支援を行っている。また、年に数回職場訪問を行っている。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福岡県立朝倉高等学校	夜間定時制
地域や出身中学校職員との生徒情報交換の会議において、過去の非行等の情報を得ているが、偶然犯罪歴を知ることができた対象生徒に対して、定期的な面談を行って指導した。また、各定期考査後に行う補講によって学習支援を行った。対象生徒は、3年生の進級に向けた3学期になって、進路変更を申し出てきた。学習意欲が低く、新しい友人関係もうまく構築できていなかったため、在学が続かなかった。学習支援と合わせ、コミュニケーションスキル向上のためのプログラム等の実施が必要ではないか。さらには、家庭環境の改善は特に大きな課題であった。		
2	福岡県立嘉穂東高等学校	夜間定時制
情報交換会を適宜行い、問題行動未然防止のための積極的生徒指導を実践している。		
3	福岡県立東鷹高等学校	夜間定時制
サポート制度に則り、所轄警察署との連携を通して、可能な限り進級・卒業へ向けて当該生徒への学習支援を実施。(逮捕事案については自主退学していくケースが多い)		
4	福岡県立博多青松高等学校	Ⅲ部制 定時制課程 単位制
特にないが、本校は単位制であり、在籍期間が最長6年であるので、本人のペースに合わせた学習が保障できる。定時制課程での学習が困難な場合は本校通信制課程への編入学等をすすめる場合もある。		
5	福岡県立福岡工業高等学校	夜間定時制課程
非行や犯罪歴のある生徒も受け入れて、保護監察官・警察から情報を受け指導している。		

【佐賀県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	唐津商業高等学校	夜間定時制
<p>○生徒の理解度に応じた学習プリントを作成するなど、指導方法の工夫に努めている。 授業の前後及び長期休業中に補充授業や個別指導を行うなど、生徒の多様な学力レベルに合わせた指導を行っている。</p> <p>○文字力テスト、計算力テストを年間各7回実施し、勉強する姿勢を養っている。</p> <p>○養護教諭が、不登校経験生徒等への教育相談的役割も果たしている。</p>		
2	敬徳高等学校	通信制
<p>学校設定科目：基礎国語、基礎数学、基礎英語の3科目を開講して、振り返り学習を行っている。</p>		
3	佐賀工業高等学校	夜間定時制
<p>当該生徒の状況について、全体で共有し、各教科担当で教材作成を行い対応している。</p>		
4	佐賀商業高等学校	夜間定時制
<p>目的に応じて、授業時間外での個別対応、個別指導を行っている。生徒の学習意欲向上に一定の効果があると考えている。</p>		
5	鳥栖工業高等学校	夜間定時制
<p>○中学校で学習する基礎的なことを十分に学んでいない生徒が多いので、週に1回、全校生徒に計算力UPトレーニングを実施している。基礎学力向上のため、加減乗除の計算から始めて、自分のペースでステップアップしていけるような教材を教務で準備した。</p> <p>○小学校や中学校で学習した内容を未だ理解出来ていないことがあるので、義務教育で学習した内容も復習させながら、授業を展開している。生徒への発問を多用して、現在の学習到達度を確認しながら、教材の選択の段階で工夫し、分かりやすい授業に努めている。</p> <p>○電子黒板に投影する板書面と同一形式のプリントを配付して、生徒が聞き取りや思考することに集中できる環境を提供した。また、教科書を電子黒板に投影し、生徒の授業の進行からの逸脱を防いだ。</p>		
6	有田工業高等学校	夜間定時制
<p>専門教科科目では、全ての生徒が一からの学習になる為、特に対応はしていないが、普通教科での授業においてゆっくり丁寧に学習内容の指導に当たっている。また、編入学の生徒に対しては、専門教科科目の修得に当たり学年を超えた時間割等によりできる限り本校での在学期間が最短になるように配慮している。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	唐津商業高等学校	夜間定時制
<p>人工心臓を体に埋め込んだ生徒がおり、バッテリーが入ったキャリーケースを引きながら学校生活を送っている。該当生徒への対応のため、次のような取り組みを行っている。</p> <p>○職員への周知 大学病院のスタッフに来校を依頼し、全日制の職員を含めた研修会を4月1日に実施し、職員の意識徹底を図った。主治医からは緊急対応等の説明が行われた。</p> <p>○生徒への周知 全校生徒に対し、廊下等の移動に伴う注意と、対象生徒の状態や、緊急対応策を説明し、協力を求めた。全日制の生徒との交流もあるため、全日制の生徒にも全校集会で周知を図った。</p>		

「廊下は走らず、絶対に、ぶつかったりしない」等。落ち着いた生活をし、助け合うことを呼びかけた。

○対象生徒への支援

- ・特別支援教育支援員を配置し、常に生徒に付き添ってもらっている。
- ・多目的トイレを対象生徒専用として使用している。
- ・車いすを、常時、対象生徒の近くに準備し、体調不良になった時のために備えた。
- ・大学病院の医師並びにスタッフと連絡・情報交換は養護教諭を中心に行った。
- ・必要に応じ、教頭、担任、養護教諭、保健部職員が直接大学病院に出向き、現状の問題点の解決策を協議し、緊急時の体制や、注意点等、事細かに確認を行った。

○課題

現在は、対象生徒が入院・検査が頻繁になり、欠席が続いている。そのため、単位修得が難しい状況である。また、夜間定時制のため、支援員を継続的に雇用するのが困難である。

2	佐賀工業高等学校	夜間定時制
特別支援コーディネーターを中心に、外部機関との連携を行っている。		
3	鳥栖工業高等学校	夜間定時制
○一人ひとりの生徒が抱えている困難な状況について、教職員で共通理解を図るようにし、ケースによっては、スクールカウンセラーの協力も仰ぎながら、生徒の個性に配慮しつつ、日々の授業や行事を展開している。		
○発達障害とはいえませんが、知的にやや劣る生徒がいる。アルバイトをしても長続きはせず、家庭での親子関係も複雑で、家出の経験もある。現在、スクールカウンセラーの支援を受けながら本人をサポートしている。		
4	有田工業高等学校	夜間定時制
○校内に特別支援教育委員会を設置し、発達障害等を持つ生徒について「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成することで生徒の実態把握及び支援につなげている。		
○必要に応じて、県の学校生活支援事業を活用した巡回相談員や専門家の派遣を依頼したり、市町の福祉関係や就労支援センター等と連携することにより、生徒のニーズに合わせた支援を行っている。		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	佐賀工業高等学校	夜間定時制
校内での研修会、外部機関との連携を行っている		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	唐津商業高等学校	夜間定時制
○給付型奨学金の紹介 通常の奨学金は、返還義務が生じるため、給付型奨学金の案内に力を入れている。		
○アルバイトの就労支援 未納の続いている生徒には、ハローワークとの連携により、アルバイト情報の提供を行い、就労を奨励している。 また、修学旅行代金だけでもと、アルバイトの為の面接指導や事業所の紹介を行った。		

○補助金の利用 未納家庭において、少しでも保護者負担の削減として、「定時制課程夜食費補助」の申請を促した。県の単独事業として、前年度90日以上勤務実績を条件に、夜食費補助・教科書無償給与が行われている。		
○家庭からの自立 基本的に、経済的困難者で保護者納付金未納がある家庭は、両親ともに無職の家庭が多い。未納の多い生徒に関しては、学費は親に頼らずアルバイトするよう声かけをしている。		
2	佐賀工業高等学校	夜間定時制
各種奨学金制度を生徒と保護者に周知し、経済的負担の軽減につとめている。		
3	佐賀商業高等学校	夜間定時制
家庭状況に応じて、奨学金や就学支援金の案内、SSWとの連携、関係機関との連携などを図り、生徒ができるだけ不利益を受けないようにサポートしている。		
4	鳥栖工業高等学校	夜間定時制
生徒がアルバイトをしている事業所には、必ず年に1回訪問し、始業時間や学校行事などを確認し学校生活に支障がないように協力をお願いしている。また、定期考査及び休日に実施する行事等については、1月前に考査に伴う自宅学習の時間確保、行事に参加できるよう各事業所へ文書でお願いしている。		
5	有田工業高等学校	夜間定時制
○日本教育公務員弘済会より、向学心に富み学費支弁が困難な生徒に対し5万円を1回のみ支給。返済義務なし。(定時より1名推薦)		
○現在、佐賀県育英会より2名、長崎県育英会より1名の貸付。		
○来年度は佐賀県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金の貸付を予定。これは卒業によって返済免除となる。(今年度は貸付対象者なし)		
○就労支援の方法として、地元の公共職業安定所と連携している。求人最新の情報を印刷物として毎週いただき、教室掲示により生徒へ案内している。(現在、本校では8割以上の生徒が就労している。)		
○定時制には成人した生徒も在籍するが、そのような成人した生徒が経済的に困難を抱えていたケースでは、スクールソーシャルワーカーや県の生活自立センター等と連携し対応を行った事例があった。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	鳥栖工業高等学校	夜間定時制
地区の中高連絡協議会や本人との面談により把握し、友人関係や言葉遣いなど日常生活を観察しながらそのつど注意して、担任や生徒指導職員と面談している。		
2	有田工業高等学校	夜間定時制
非行を有する生徒には発達障害がある場合もあり、特別支援教育担当と連携して、指導を行っている。		

【長崎県】

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	鳴滝高等学校高等学校	通信制
社会不安症の生徒に対して、授業中の保護者同席を許可している。		
2	鳴滝高等学校高等学校	通信制
車いす利用の生徒は、1階の教室で授業が受けられるよう教室配置を配慮する。上の階を使用する場合もエレベーターを使用して、移動に支障がないようにしている。		
3	鳴滝高等学校高等学校	通信制
授業時の板書では、後方からでも充分見れるように文字を大きめに書くように心がけている。色使いもできるだけ明るめなものを使い、見やすいものを利用している。		
4	鳴滝高等学校高等学校	通信制
視力の弱い生徒に対して、レポートや試験問題を拡大コピーして渡している。		
5	鳴滝高等学校高等学校	通信制
ラッセルシルバー症候群で体力がなく体調の維持が難しいため度々大学病院に入退院を繰り返す生徒について以下の取組みをしている。 ①登下校時の保護者による送迎、②校内での保護者による介助、③職員間での情報共有 ④授業時の簡易ベッドや車いすの使用、⑤試験時の保健室受験、⑥体調維持のため冷暖房の使用。特に寒さに弱いため、冬の定期試験時はエアコンの暖房以外に湯たんぽやファンヒーターなどの利用		

【熊本県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	熊本県立湧心館高等学校	定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語においては、1年次に習熟度別指導を導入し、個別指導を充実させ、基礎学力の定着を図り、高校での学習活動に必要な知識や能力を身に付ける。全教科において義務教育段階の振り返りを行い、教科・科目の興味・関心を高める取組を行っている。さらに、学習の深化を図るために多様な選択科目を設け、学習意欲を持続させるようなカリキュラムになっており、進路選択にも結び付けることができる。 ・中途退学者に対しては編入学があり、「退学してから6ヶ月経過し、願書提出時点よりさかのぼり3ヶ月以上の就職期間があること。」としている。前在籍校から、引き続き学習できるよう柔軟に対応するが、受け入れた年次で実施されている授業を受けることになる。 ・編入学の対象者は、「帰国子女および高等学校等の第一学年以上の課程を修了以後中途退学した者」で「退学後、少なくとも半年程度仕事継続していること」。昨年度は前籍校（全日制）を第2学年まで終了し、1年後、4学年次に編入してきた生徒がいたが、履修科目の調整が大変だった経緯がある（英語、地理、商業の単位は履修済みで、他学年の世界史は未履修等）。 ・二年次への編入になるため、19単位以上の単位を修得していること。工業高校であるため、安全教育の実施の必要性から履修には順序がある。そのため、編入後スムーズに卒業に必要な単位修得をさせるためには、時間割上の配慮が必要になる。複数生徒がいる場合には、時間割の制約により配慮ができないことがある。単位が未修得（0単位）であれば、1年次の新入学として受け入れる。単位修得していれば、前籍校で取得した単位数及び高卒認定試験合格科目により、相当年次に入る事ができる。本校の教育課程にない専門科目の単位については、10単位を上限として卒業単位（74単位）に含める。 ・編入学は、高等学校の第1学年以上の課程を修了後に中途退学した者で、原則として中途退学後3カ月以上継続して就労した者を審議の対象とする。 		
2	熊本県立湧心館高等学校	通信制
<p>学校設定科目「湧通入門」を開講し、義務教育段階の学習内容を振り返りながら、英語分野と社会分野における基礎的な能力を養い、高校における、より高度な学習活動に必要な能力を身につけさせる。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	熊本県立湧心館高等学校	定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の生徒理解研修や月1回の教育相談・特別支援会議、月1回の職員会議における生徒状況把握等で細かに生徒の情報交換を行い、全職員で支援を行っている。バリアフリー化がなされており、車いす等での校内移動が円滑にできるよう配慮がなされている。また、教室棟や特別教室棟にはエレベーターがそれぞれ設置されている。SCやSSW、特別支援教育支援員が配置されており、計画に基づき学習支援を行っている。 ・本校では、新入生徒の出身中学校への聞き取りを行っている。また、希望があれば入学前説明会において、保健主事と特別支援コーディネーター」で入学前面談を実施している。それらの情報をもとに、担任の先生にフェイスシートを作成する。（本校は全員分のフェイスシートを作成）また、必要な生徒には支援計画、指導計画を作成し、生徒理解研修での職員周知や、文書セキュアへのアップにより、PCで閲覧し授業等へ生かしている。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態を把握して、生徒理解のための研修を行い、職員間での指導方針の共通理解を図っている。難聴の生徒に対して、座席を指定したり、小さい文字が見えにくい生徒が在籍しているクラスに対して、クラス全体に拡大したりプリントを配布している。 ・現状としては、視力と聴力等に問題を持つ生徒がおり、T Tをつけて、毎時間生徒の隣に座り補助をしている。また窓側のカーテンを閉めたり、椅子の脚部の防音対策としてテニスボールを装着したり、教科書やプリント類はA 4用紙をA 3用紙に拡大している。教室に入れない生徒や合同集会等に入れない生徒もいたりして、授業の空いている教職員で付き添うようにしている。 ・1年次生徒の授業は全てT Tで対応している。また授業に入れない生徒への対応として、全時間にフリーで対応する職員を必ず1人。「生徒理解研修で情報を職員間で共有している。授業での対応はUD化を始めとし、わかる授業づくりと称し、工夫できることを合理的な支援の範囲で取り組んでいる。 ・独自の問題で国語・数学・英語の新入生考査を実施し、その結果から担当者が分析を行い、生徒個人の実態、授業に受講する集団としての実態を、全職員で把握する機会を作っている。月に1度、生徒理解研修を行い、全生徒の現状について全職員で把握している。各教科担当はその情報をもとに、「分かる授業」を目標に教材研究を行っている。I C T機器を用い興味・関心を高め、視覚的な情報を基に伝えることと、映像を見た後、同じ内容を繰り返し説明することで学習の学習の深化を図っている。 ・頻繁に生徒の状況を確認し合い、共通理解のもとに保健室や保護者、S S W等とも連携しながら支援に努めている。授業中の説明や言葉遣いに留意し各授業時間のねらいや流れを明確に示したり、テストでは分かり易い表現や必要に応じ平易な漢字を使用する等の配慮は既に心掛けている。 		
2	熊本県立湧心館高等学校	通信制
<p>高い学習意欲を有しながら、障がいや精神的な疾患等により、通常教室における多人数でのスクリーニングを受けることが困難な生徒に対する合理的配慮の一つとして、「少人数もしくは個別でのスクリーニング（特別スクリーニング）」を実施することができるものとする。</p> <p>S CやS S W、特別支援教育支援員が配置されている（平成30年度）。特別支援教育支援員は、教室移動の際の付き添いや見守りなどを行っている。</p> <p>エレベータが2基整備されており、段差はほとんどない。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	熊本県立湧心館高等学校	定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書無償制度や就学奨励資金を周知しており、教科書無償制度では65%程度、就学奨励資金では11人の生徒が活用している。アルバイト等を行っていない生徒については、校内ジョブサポーター制度を導入し就労支援を行っている。 ・S S Wに個別対応をしてもらっても応じようとしない保護者もおられるが、その後の対応までは進んでいない。 ・S S Wによる本人、担任への面談において現状把握の努力をしている。保護者に対しては、家庭訪問を行ったが、改善が難しい場合もあり、就労を優先して登校が困難な生徒もいる。 ・児童相談所や社会福祉協議会、出身中学校等に協力を依頼するようにしている。 		